



斉藤重美 (自民公明クラブ)

十和田湖・奥入瀬溪流の

世界遺産登録を

国で登録の動きがあった場合 ともに取り組んでいく

議員 世界に誇れる

十和田湖・奥入瀬溪流 を、世界遺産に登録する考えは。

市長 世界遺産に登録された場合、知名度

のさらなる向上など、様々な相乗効果が期待できますが、世界遺産に必要な暫定リストへの登録は、今後公募ではなく学識経験者等が調査、選定していくことになると思います。聞いています。そのため、国で登録の動きがあった場合には地元として取り組んでいきます。

議員 令和4年度水

田活用交付金が減額になると聞いたが、農家への対応策はあるのか。

農林商工部長 青森県

をはじめ地方6団体の連名で国に対し、「水田農業の持続的発展に向けた対策の強化に関する要望書」を提出したところですが、国の交付要綱がまだ定まっていけないことから、市独自で農家に補助することは、現時点では考えていません。

農林商工部長 ろまん

パークの芝生公園等の利用者向けであり、冬期開放は設備の設置や通路の除雪などが必要となるため、施設の利

用見込みのない冬期開放は考えていません。

議員 ろまんパーク

北側の雑木を伐採し、展望台を設置しては。

農林商工部長 雑木を

管理する県から「眺望改善の目的では伐採の優先順位は低い」と確認したため、現在は伐採要望はしませんが、今後の活用を調査研究したいと考えています。



世界に誇る景観を有する十和田湖

議員 大堀公園西側

総合計画・後期計画策定時の 市民アンケートの反映は

子育て支援の充実に 取り組んでいく



山端博 (市民連合クラブ)

議員 第2次市総合

計画の後期基本計画策定時に市民アンケートを実施しようだが、市民アンケートを踏まえた新規事業の予定は。

企画財政部長 子育て

支援の充実について多くの要望があったことから後期基本計画の重点プロジェクトとし、

令和4年度新規事業で、産婦健康診査、出産費用や股関節脱臼検査費用の助成、子ども医療費助成の対象者拡充などを予定しており、さらなる子育て支援を図っていきたいと考えています。



さらなる子育て支援の充実へ

議員 市ごみ減量行

動計画では「1人1日当たりのごみの排出量を920グラム以下」

にする目標であるが、達成した場合の効果は。

民生部長 令和2年度

の1人1日当たりのごみ排出量を基に計算した場合、市全体では約

1729トンの減量、ごみ収集処理費用で約5800万円が軽減されることが見込まれます。このほか、ごみ処理施設の焼却炉や最終処分場である埋立地の延命化、さらに地球温暖化の抑制にも大きく寄与するものと考えています。

議員 民間企業のバ

イオガスエネルギーとわたの運用開始は、当市の事業系廃棄物にどのくらい影響を与えているのか。

民生部長 令和2年4

月から食品の残渣を受け入れ始め、本市の事業系廃棄物で令和2年度43トン、令和3年度は2月までで330トンを処理しています。これまで十和田地域広域事務組合で焼却処分していたため、その分がごみ処理量から減っています。